

自律・協働・参画



笹塚中だより



渋谷区立 笹塚中学校（令和8年4月14日発行）

校長 濱島 美佐子

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

4月7日（火）、新入生を迎え、令和8年度がスタートしました。新入生の皆さんは、ワクワクしながら、笹塚中の校門をくぐったことでしょう。一緒に笹塚中で学んで成長していきましょう！



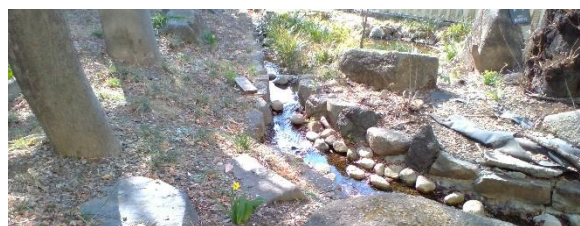
笹塚中では、渋谷区の「公立学校の特色づくり」として「グローバルコミュニケーション」を学校の特色として取り組むことになり、今年度は準備期間として、令和9年度からの5年間の取組のカリキュラム作成を行うことになりました。ただワーキングチーム（教員、学校運営協議会、生徒会）で検討してきた内容は「アントレプレナーシップ」での取組でしたので、「グローバル」の視点を加えて「グローバルアントレプレナーシップ」のイメージで特色作りができるとよいのではないかと検討しています。各学校の今までの取組を活かして、学校に合うネーミングに変えていくことは可能であるということで、今後も検討を続けてまいります。

「アントレプレナーシップ」は、端的に日本語で表すと起業家精神と言われます。自分の好きなことや得意を活かして、その延長に世の中で役立つ仕事を生み出したり、仕事の中でも前向きにアイデアを出し続け、貢献していけるようなチャレンジ精神を意味します。なので、起業に関わらず、組織の中の一翼を担う人材でも、その精神をもった人材は常に工夫を自らし続け、価値を生み続けるので、企業の中においても求められる人材です。「グローバル」というと遠い出来事のように感じるかもしれませんが、身近に自分事として行っている取組もグローバルにつながっていく可能性があります。

これは始業式でも生徒に話したのですが、2年生が1年次に行ったテーマ探究「SDGs」もグローバルな視点を加えると「ユネスコ」になります。そのように、視野を大きく広げてみると身近な問題も実は世界につながっていることがあります。そのように考えを広げる思考も身に付けていけていきましょう。

そのための有効な道具が「英語」であり、「ICT」でしょう。英語については言語なので、毎日の取組で必ず上達します。授業を大事にしながら、日々の取組で力を付けられるとよいので、皆さんと考えて工夫ある取組ができたらいいなと考えています。「ICT」についても使いこなせるような力を授業を通して身に付けていきたいと思います。「探究」においてもその視点を加えて今年度、更に発展させていきたいと思えます。

今年度、生徒の皆さんにも土台を丁寧に作りながら、「チャレンジャーであれ」という言葉を贈りたいと思います。新しい発想を大事に、勇気を出してチャレンジしてみましょう。その時に支える仲間が大事です。互いのチャレンジを称え、前を向いて歩き続ける仲間成長していきましょう。笹塚中の教員一同、皆さんを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞ、よろしくお願い致します。



春のビオトープ 水仙の花が咲いています